高耐力柱脚金物ー施工誤差吸収タイプ

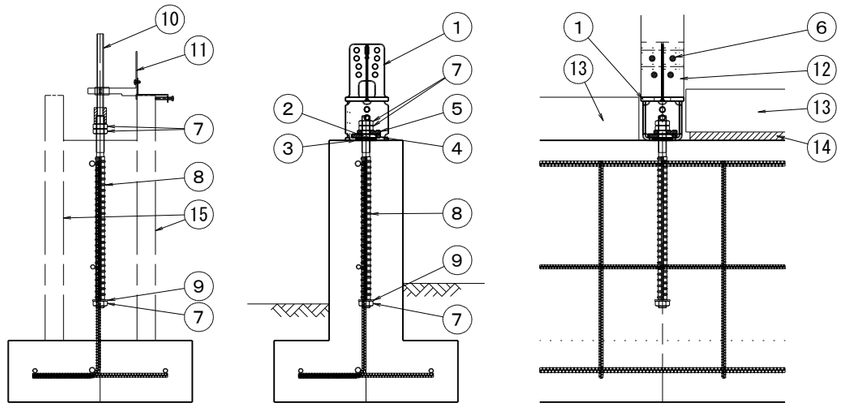
ピタットベース®PAT.P

ＨＰ評価（木）－１７－０１７

岡部株式会社 木造戸建部材グループ
〒131-8505 東京都墨田区押上２－８－２
TEL. 03(3624)5401 http://okabe.co.jp/

2019年8月作成

１．構成部材・寸法



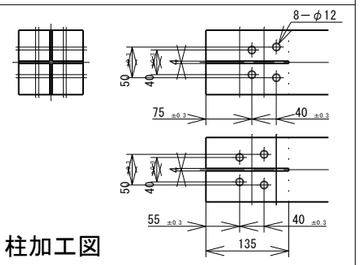
① 柱脚金物
② C1リング
③ C2リング
④ Q1座金
⑤ Q2座金
⑥ ドリフトピン
⑦ M20 3種ナット
⑧ M20アンカーボルト
⑨ M20丸座金
⑩ アンカー吊下ボルト
⑪ アンカー吊下治具
⑫ 柱
⑬ 土台
⑭ 基礎パッキン
⑮ コンクリート型枠

２．柱

□ 製材 ： 製材※1，105mm以上×105mm以上※2
含水率20%以下

□ 集成材 ： JAS同一等級構成構造用集成材
105mm以上×105mm以上，E65-F225以上

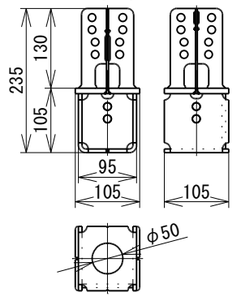
※1：行令第46条第2項第1号に用いる場合，製材は告示第1898号の基準を満足すること。
具体的には，含水率15%以下，JAS規格材とすること。
※2：使用する環境によって含水率が20%を超える恐れがある場合は，使用環境1を用いること。



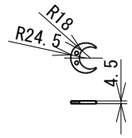
柱加工図

３．部材

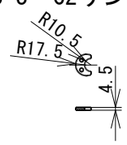
3-1 ピタットベース



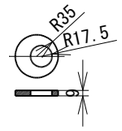
3-2 C1リング



3-3 C2リング

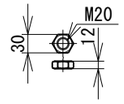


3-4 Q1座金

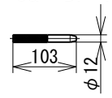


3-5 Q2座金

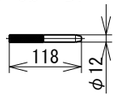
3-7 M20 3種ナット



3-6a DP-103

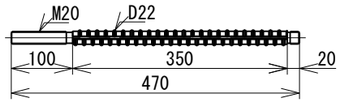


3-6b DP-118

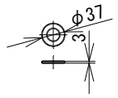


オプション品（3-8から3-11）

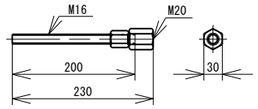
3-8 M20アンカーボルト



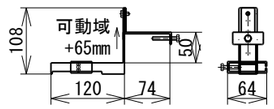
3-9 M20座金



3-10 アンカー吊下ボルト

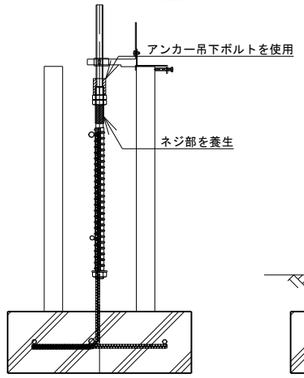


3-11 アンカー吊下治具

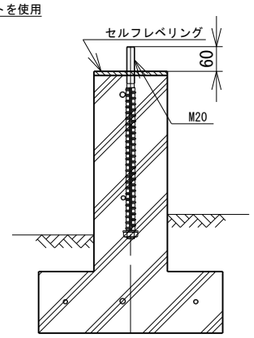


４．施工

4-1 アンカー設置

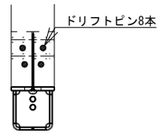


4-2 立上り打設



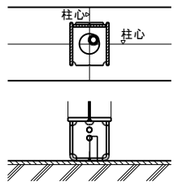
4-3 柱心墨出し

4-4 WB105と柱を接合

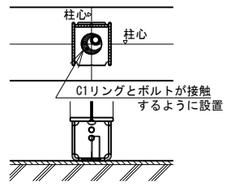


※注意：アンカーボルトM20をコンクリート天端より60mm出るように設置

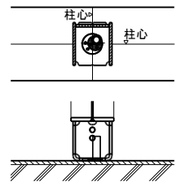
4-5 墨に合わせて設置



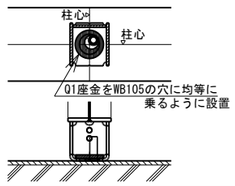
4-6 C1リング挿入



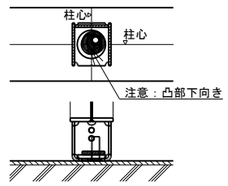
4-7 C2リング挿入



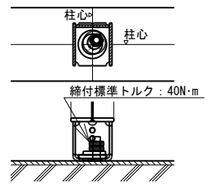
4-8 Q1座金設置



4-9 Q2座金設置



4-10 M20ナット取付



柱脚に軸力とせん断力が作用する場合には以下の式を満足すること

$$\left(\frac{Q\times C_{\mu}}{Q_a}\right)^2+\left(\frac{T}{T_a}\right)^2\leqq 1$$

Q_a ：柱脚接合部の短期許容せん断耐力(kN)
Q ：柱脚接合部に生じるせん断力(kN)
C_{μ} ：筋かい接合用係数（筋かい接合以外は0とする）
圧縮筋かい：$C_{\mu}=1-0.4(H/W)$ ，ただし$C_{\mu}<0$の場合$C_{\mu}=0$
引張筋かい：$C_{\mu}=0$
T_a ：柱脚接合部の短期許容引張耐力(kN)
T ：柱脚接合部に生じる引張力(kN)

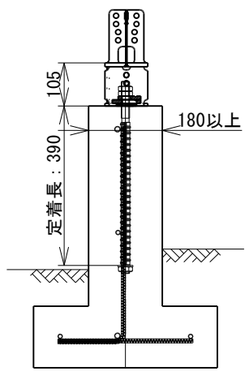
製材仕様

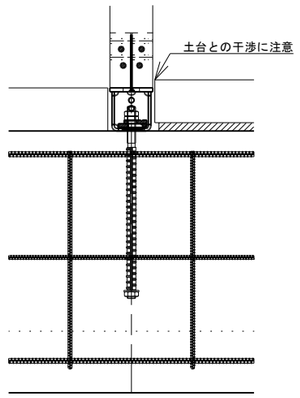
採用	使用環境	耐力の種類	短期許容接合耐力 (kN)	終局耐力 Pu(kN)	剛性 K_{3m} (kN/mm)
	使用環境 Ⅰ 常時湿潤状態に置かれる環境	引張Ｔa	49.2	64.2	13.0
		圧縮Ｃa	84.7	115.8	39.7
		せん断Ｑa	16.6	23.5	4.9
	使用環境 Ⅱ 断続的に湿潤状態となる環境	引張Ｔa	60.0	78.4	15.8
		圧縮Ｃa	102.2	139.7	47.9
		せん断Ｑa	20.0	28.3	5.9
	使用環境 Ⅲ 通常の使用環境（使用環境Ⅰ・Ⅱ以外）	引張Ｔa	62.9	92.5	18.7
		圧縮Ｃa	121.1	165.4	56.7
		せん断Ｑa	21.9	33.5	7.0

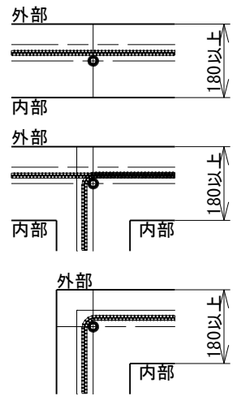
集成材仕様

採用	使用環境	耐力の種類	短期許容接合耐力 (kN)	終局耐力 Pu(kN)	剛性 K_{3m} (kN/mm)
	使用環境 Ⅰ 常時湿潤状態に置かれる環境	引張Ｔa	55.0	72.1	15.2
		圧縮Ｃa	88.8	121.3	41.6
		せん断Ｑa	17.4	24.6	5.1
	使用環境 Ⅱ 断続的に湿潤状態となる環境	引張Ｔa	63.2	87.4	18.4
		圧縮Ｃa	107.6	147.1	50.4
		せん断Ｑa	21.0	29.8	6.2
	使用環境 Ⅲ 通常の使用環境（使用環境Ⅰ・Ⅱ以外）	引張Ｔa	63.2	103.8	21.9
		圧縮Ｃa	127.8	174.6	59.9
		せん断Ｑa	23.1	35.4	7.4

５．基礎







※アンカーボルトは基礎主筋よりも建物内部に入れてください。